

508

令和7年5月26日現在

①	ふりがな 氏名	ひらやま ひろゆき 平山 寛之
④	所属先	株式会社野生動物保護管理事務所
	役職名	上席研究員
⑥	専門分野 ※該当に✓を記入	☐ 捕獲手法 ☐ 侵入防止技術 ☐ 周辺環境整備 ☐ 地域合意形成 ☒ データに基づく計画立案 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ ICT機器の活用（捕獲通知等） ☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（ ）
⑦	対象鳥獣 ※該当に✓を記入	☒ シカ ☒ イノシシ ☒ サル ☒ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン ☐ アライグマ ☐ アナグマ ☐ カラス ☐ カモ ☐ ヒヨドリ ☐ スズメ ☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（ ）
⑧	対応可能地域 ※該当に✓を記入	☐ 全国 ☐ 北海道 ☒ 東北 ☒ 関東 ☒ 北陸 ☒ 東海 ☒ 近畿 ☒ 中国 ☒ 四国 ☒ 九州 ☐ 沖縄 ☐ その他※特定の都道府県、地域（ ）
⑨	免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入	☒ 狩猟免許 （銃：取得年 H27年 、 わな：H27年） ☐ 鳥獣プロデュータバンク { ☐ 鳥獣保護管理プランナー ☐ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター ☐ 鳥獣保護管理調査コーディネーター ☐ 鳥獣管理士（ ）級 ☐ ジビエ利活用コーディネーター ☒ その他（博士（理学））

508

令和7年5月26日現在

⑫活動実績	
活動期間	平成27年4月～令和7年4月
地域	福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、山梨県、岐阜県、京都府、鳥取県、広島県、山口県、徳島県
対策の種類 ※該当に✓を記入	☐ 捕獲手法 ☐ 侵入防止技術 ☐ 周辺環境整備 ☐ 地域合意形成 ☒ データに基づく計画立案 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ ICT機器の活用（捕獲通知等） ☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（ ）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☒ シカ ☒ イノシシ ☒ サル ☒ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン ☐ アライグマ ☐ アナグマ ☐ カラス ☐ カモ ☐ ヒヨドリ ☐ スズメ ☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（ ）
活動の内容	各府県における調査設計（生息状況調査、被害状況調査）に関わったほか、委託業務内で調査の実施または解析等の実務を担った。調査として、イノシシの生息状況調査（痕跡調査）、出猟カレンダー調査、複数鳥獣を対象とした農業被害等のアンケート調査を行った。解析として個体数推定（シカ、イノシシ、クマ）、群れの個体数動向予測（サル）を行った。生息状況調査の分析結果の多くは各地域で野生動物の生息個体数を低減あるいは維持するための、捕獲数の設定に利用され、各地域の捕獲目標の設定に活用されている。これらの業務中で、調査結果等は府県の行政担当者に打合せや報告書等で報告し、より適切な調査設計や分析方法がある場合には、随時助言を行ってきた。具体的には、調査の範囲や方法に関する内容、より適切な分析の手法、分析結果によって得られた捕獲目標を達成するための、捕獲推進のための取組等を岐阜県の行政担当者に野生動物管理の専門家として、助言している。 福島県においては、福島県自然保護課発注の委託業務において、避難12市町村に配置した避難地域鳥獣対策支援員（平成30年度から令和元年度は2名、令和2年度以降は6名）による市町村担当者及び地域住民支援を指示・統括している。状況の異なる12市町村で必要な調査、優先するべき対策等の提案に加え、野生鳥獣対策の全般の研修（調査、捕獲、被害防除、環境整備等）の企画や提案を行っている。また、現地での生息状況調査に平成30年度から令和6年度まで毎年参加し、その成果は各市町村の行政担当者及び福島県自然保護課の行政担当者に報告を行うとともに、状況と今後必要となる調査及び対策等の方針について助言を行っている。